



[様式第3号]

資料提供年月日	令和4年11月25日	
問い合わせ先	課名	財政課
	電話	直通 803-1146 内線 4410
担当者	職名・氏名	課長 西
	職名・氏名	課長補佐 河合

広 報 連 絡

- 1 件 名 令和4年度11月補正予算(第4号)(案)について
- 2 内 容 別紙のとおり

令和4年度11月補正予算(案)について

1 補正予算(案)の概要

本補正予算(案)は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対策として、ワクチン(オミクロン株対応、乳幼児など)の迅速な接種に向けて必要な体制を確保するとともに、感染者等へのきめ細やかな対応を実施するための予算として編成するものです。

また、児童虐待の未然防止や早期発見のためのSNSを利用した相談体制の整備や、小中学校の特別教室へ空調設備を整備するための経費等も併せて編成しています。

	(補正額)	(補正後予算額)	(対前年同期比)
一般会計	20億83百万円	3,759億38百万円	98.1%
特別会計	14億59百万円	1,974億19百万円	101.7%
事業会計	1億75百万円	778億29百万円	102.0%
予算総額	37億17百万円	6,511億86百万円	99.7%

《主な事業》

○新型コロナウイルス感染症対策関係

- ・オミクロン株対応ワクチン接種や乳幼児接種など、新型コロナウイルスワクチン接種を進めるために必要な体制を確保します。
- ・これまでの対応実績を踏まえ、次なる感染拡大に備えて、自宅療養サポートセンターなどの患者対応のための体制を確保します。
- ・新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の受付期間が延長されたことに伴い、必要な経費を増額します。

○その他の事業

- ・児童虐待の未然防止や早期発見のため、全国共通の相談支援システムを使用したSNSによる相談体制の整備を行います。
- ・小中学校の特別教室への空調設備整備を推進するための業務委託を行います。

2 予算額

(1) 予算総額

(単位:千円)

会 計 別	補正前の額	補正額	補正後の額	前年度同期	伸び率
一 般 会 計	373,854,597	2,083,340	375,937,937	383,111,148	98.1%
特 別 会 計	195,959,969	1,458,992	197,418,961	194,036,216	101.7%
事 業 会 計	77,654,037	175,000	77,829,037	76,303,926	102.0%
合 計	647,468,603	3,717,332	651,185,935	653,451,290	99.7%

(2) 一般会計

ア 歳入

(単位:千円)

款	補正前の額	補正額	補正後の額	構成比
市税	131,679,676		131,679,676	35.0%
地方譲与税	2,661,000		2,661,000	0.7%
利子割交付金	90,000		90,000	0.0%
配当割交付金	575,000		575,000	0.2%
株式等譲渡所得割交付金	815,000		815,000	0.2%
分離課税所得割交付金	144,000		144,000	0.0%
法人事業税交付金	1,697,000		1,697,000	0.5%
地方消費税交付金	16,304,000		16,304,000	4.3%
ゴルフ場利用税交付金	108,000		108,000	0.0%
環境性能割交付金	353,000		353,000	0.1%
軽油引取税交付金	5,864,000		5,864,000	1.6%
国有提供施設等所在市町村助成交付金	60,000		60,000	0.0%
地方特例交付金	948,000		948,000	0.3%
地方交付税	38,800,000		38,800,000	10.3%
交通安全対策特別交付金	242,000		242,000	0.1%
分担金及び負担金	1,567,694		1,567,694	0.4%
使用料及び手数料	6,369,864		6,369,864	1.7%
国庫支出金	84,762,489	1,624,290	86,386,779	23.0%
県支出金	19,171,135	58,000	19,229,135	5.1%
財産収入	650,090		650,090	0.2%
寄附金	447,630		447,630	0.1%
繰入金	8,869,048	△ 500	8,868,548	2.4%
繰越金	3,637,491	401,550	4,039,041	1.1%
諸収入	3,892,580		3,892,580	1.0%
市債	44,145,900		44,145,900	11.7%
合 計	373,854,597	2,083,340	375,937,937	100.0%

イ 歳 出

(単位:千円)

款	補正前の額	補正額	補正後の額	構成比
議会費	1,140,428		1,140,428	0.3%
総務費	40,391,993	123,000	40,514,993	10.8%
民生費	149,983,549	110,390	150,093,939	39.9%
衛生費	30,486,173	1,751,250	32,237,423	8.6%
労働費	314,919		314,919	0.1%
農林水産業費	7,507,664		7,507,664	2.0%
商工費	8,391,871		8,391,871	2.2%
土木費	44,604,491	80,000	44,684,491	11.9%
消防費	8,681,891	18,700	8,700,591	2.3%
教育費	48,061,384		48,061,384	12.8%
災害復旧費				
公債費	34,090,234		34,090,234	9.0%
予備費	200,000		200,000	0.1%
合 計	373,854,597	2,083,340	375,937,937	100.0%

(3) 特別会計

(単位:千円)

会 計 別	補正前の額	補正額	補正後の額
国民健康保険費	67,290,626		67,290,626
用品調達費	45,391		45,391
災害遺児教育年金事業費	14,792		14,792
公共用地取得事業費	150,262		150,262
財産区費	17,750		17,750
学童校外事故共済事業費	13,913		13,913
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	170,071		170,071
介護保険費	69,161,560	1,458,992	70,620,552
後期高齢者医療費	11,454,581		11,454,581
公債費	45,188,598		45,188,598
岡山市立総合医療センター病院事業債	2,452,425		2,452,425
合 計	195,959,969	1,458,992	197,418,961

(4) 事業会計

(単位:千円)

会計別	補正前の額	補正額	補正後の額
病院事業会計	169,791		169,791
水道事業会計	25,900,000	163,000	26,063,000
工業用水道事業会計	287,000	12,000	299,000
市場事業会計	1,222,576		1,222,576
下水道事業会計	50,074,670		50,074,670
合計	77,654,037	175,000	77,829,037

(5) 基金の状況

(単位:百万円)

区分	3年度末 現在高	4年度中見込				4年度11月 補正後 現在高見込
		積立金		取崩額		
		9月補正まで	11月補正	9月補正まで	11月補正	
財政調整基金	20,736	7,170		5,000		22,906
市債調整基金	1,477	66				1,543
公共施設等整備基金	16,752	59		3,000		13,811
3基金合計	38,965	7,295		8,000		38,260
庁舎整備基金	8,832	44		87		8,789
合計	47,797	7,339		8,087		47,049

(注) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの。

(6) 地方債残高の状況

(単位:百万円)

区分	3年度末 残高	4年度中見込					4年度末 残高見込
		元金償還金	借入額			借入合計	
			前年度からの 繰越分	9月補正まで	11月補正		
一般会計	(150,331)	(18,018)	(4,400)	(30,946)		(35,346)	(167,659)
	328,066	31,843	5,011	44,146		49,157	345,380
特別会計	13,394	909		1,390		1,390	13,875
小計	341,460	32,752	5,011	45,536		50,547	359,255
事業会計	224,833	18,864	6,325	16,675		23,000	228,969
合計	566,293	51,616	11,336	62,211		73,547	588,224
(再掲)普通会計	(159,941)	(18,690)	(4,400)	(32,336)		(36,736)	(177,987)
	337,676	32,515	5,011	45,536		50,547	355,708

(注) 1. ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

2. 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。

3 主な事務事業

○新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関係

金額欄の()は一般財源充当額、単位:千円

区分	事務事業名	金額	説明
民生費	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金	(0) 17,000	コロナ禍での生活困窮世帯を支援するため、緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯で、一定の要件を満たす生活困窮世帯に支援金を支給(受付期間の延長) 補助率 国10/10 【担当課:生活保護・自立支援課】
衛生費	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	(0) 1,430,000	新型コロナウイルスワクチン(オミクロン株対応・乳幼児など)の迅速な接種に向けて必要な体制を確保 負担率・補助率 国10/10 【担当課:保健管理課】
	新型コロナウイルス感染症対策事業	(82,500) 308,000	自宅療養サポートセンターの運営経費やPCR検査、入院医療費など患者対応に要する経費を増額補正 負担率・補助率 国3/4・1/2、県10/10 【担当課:保健管理課】
総務費ほか	公共施設運営費	(169,400) 169,400	物価高騰により不足する公共施設の運営費を増額補正 【担当課:庁舎管理課ほか】

○新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関係以外

区分	事務事業名	金額	説明
総務費	ふるさと納税推進事業	(66,000) 66,000	ふるさと納税制度を利用して岡山市へ寄附をされた方への返礼品の送付等を実施 【担当課:税制課】
民生費	こども総合相談所事業	(3,150) 6,300	児童虐待の未然防止や早期発見等のため、SNSによる相談体制の整備を実施 補助率 国1/2 【担当課:こども総合相談所】
	福祉事務所等事務費	(0) 4,290	被保護者の医療機関等での資格確認に、マイナンバーカードを用いたオンライン資格確認を導入するため、生活保護システムを改修 補助率 国10/10 【担当課:生活保護・自立支援課】
衛生費	難病対策推進費	(0) 2,350	難病及び小児慢性特定疾病に係る書類をオンラインで登録できるように、医療機関のシステム環境整備を支援 補助率 国10/10 【担当課:保健管理課】

金額欄の()は一般財源充当額、単位:千円

区分	事務事業名	金額	説明
土木費	単独道路改修事業	(80,000) 80,000	下記路線の道路改修事業 (補正後 2,339,700) ・県道落合建部線 【担当課:道路港湾管理課】
介護保険費特別会計	介護給付費準備基金積立金等	(0) 1,458,992	介護保険費特別会計の令和3年度決算の確定に伴う介護給付費国庫負担金等の精算による償還金、剰余金の準備基金積立金 【担当課:介護保険課】

【債務負担行為に関するもの】

区分	事務事業名	期間	説明
土木費	北長瀬未来ふれあい総合公園管理運営委託	R4~R9	・北長瀬未来ふれあい総合公園の管理運営委託に要する経費 ・限度額 347,000 【担当課:庭園都市推進課】
教育費	学校特別教室空調設備整備事業	R4~R6	・小中学校の特別教室へ空調設備を整備するための発注者支援業務委託に要する経費 ・限度額 61,000 【担当課:学校施設課】

【債務負担行為(*ゼロ市債)に関するもの】

区分	事務事業名	期間	説明
農林水産業費	農道整備事業	R4~R5	・農道の舗装修繕 ・限度額 6,500 【担当課:農村整備課】
土木費	国補道路新設改良事業ほか	R4~R5	・道路の改良・舗装事業ほか ・限度額 1,913,700 【担当課:道路計画課、道路港湾管理課】
水道事業会計	配水管布設工事ほか	R4~R5	・老朽管の更新ほか ・限度額 2,159,000 【担当課:経営管理課】
下水道事業会計	公共下水道整備事業	R4~R5	・汚水管の埋設ほか ・限度額 554,000 【担当課:下水道管路整備課、下水道保全課】

※ 工事発注時期の平準化を図るため債務負担行為を設定するが、当年度の支出は伴わないもの。

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関係(抜粋)

令和4年度11月補正予算(案)

1. 補正予算額

一般会計 19億24百万円

〈財源〉 国県支出金 16億73百万円
一般財源等 2億51百万円

新型コロナ等関連予算の総額(億円)

	予算額	うち市負担額
R元年度	2.3	0.5
R2年度	933.3	121.2
R3年度	387.3	63.3
R4年度		
当初	24.3	22.7
6月補正	81.8	23.2
9月補正	114.6	61.1
11月補正	19.2	2.5
総額	1,562.8	294.5

※市負担額の総額にはコロナ臨時交付金166.8億円を含む

2. 主な事業

感染拡大防止等 1,738,000千円

○新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業 1,430,000千円
新型コロナウイルスワクチン(オミクロン株対応・乳幼児など)の迅速な接種に向けて必要な体制を確保

○新型コロナウイルス感染症対策事業 308,000千円
自宅療養サポートセンターの運営経費やPCR検査、入院医療費など患者対応に要する経費を増額補正

市民生活に対する支援 17,000千円

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金 17,000千円
コロナ禍での生活困窮世帯を支援するため、緊急小口資金等の特例貸付を利用できない世帯で、一定の要件を満たす生活困窮世帯に支援金を支給(受付期間の延長に伴う増額補正)

その他 169,400千円

○公共施設運営費 169,400千円
エネルギーをはじめとする物価高騰により不足する公共施設等の光熱水費を増額補正

令和4年度 11月補正予算(案)について

令和4年11月25日



令和4年度11月補正予算（案）の概要

○本補正予算(案)は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に係る対策として、ワクチン(オミクロン株対応、乳幼児など)の迅速な接種に向けて必要な体制を確保するとともに、感染者等へのきめ細やかな対応を実施するための予算として編成。

○また、小中学校の特別教室へ空調設備を早期に整備するための発注者支援業務委託に係る債務負担行為の設定や、児童虐待の未然防止や早期発見のためのSNSを利用した相談体制を整備するための経費等を合わせて予算措置。

補正予算額

	(補正額)	(補正後予算額)	(対前年度同期比)
一般会計	20億83百万円	3,759億38百万円	98.1%
特別会計	14億59百万円	1,974億19百万円	101.7%
事業会計	1億75百万円	778億29百万円	102.0%
予算総額	37億17百万円	6,511億86百万円	99.7%

(一般会計補正額のうち)

新型コロナウイルス感染症・物価高騰対策関係

19億24百万円

<財源> 国県支出金 16億73百万円

一般財源等 2億51百万円

- ▷感染拡大防止等
- ▷市民生活に対する支援 ほか

令和4年度11月補正予算(案)補足資料

補足資料 ページ	事業名	記者発表資料 掲載ページ
4	学校特別教室空調設備整備事業	6
6	SNSを活用した児童相談支援事業	5

令和4年度11月補正予算（案）補足資料

〔事務事業名〕 学校特別教室空調設備整備事業

1 事業の趣旨

授業時数確保のための夏休みの短縮、授業に集中できる学習環境の整備や、教職員の労働環境の改善などに対応するため、普通教室の空調設備整備完了に引き続き、岡山市立小中学校の特別教室にも空調設備を整備するもの。

2 事業内容

(1) 事業手法・目的

特別教室への空調設備整備を早期に実施するため、事業期間の短縮及び整備費の削減が可能な設計・施工一括発注方式（デザインビルド方式）を採用する。また、事業を円滑に進めていくため事業者選定等の発注者支援業務を活用する。

(2) 発注者支援業務の内容

設計・施工一括発注方式（デザインビルド方式）事業者選定支援（公募書類の作成、事業者の受注能力・入札参加意欲の調査、概算事業費の算出、資料作成等）を行うもの。

3 事業費

(1) 債務負担行為の設定

- ・ 限度額（発注者支援業務委託料） 61,000千円
- ・ 期間 令和4年度～令和6年度

(2) 財源内訳

- ・ 一般財源 61,000千円

担当課名	教育委員会教育総務部 学校施設課
担当者名	課長 秋庭 一夫
電 話	内線 3807 直通 803-1576

学校特別教室空調設備整備事業について

補正予算の概要

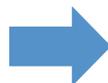
市立小中学校の特別教室への空調設備の整備を設計・施工一括発注方式で実施するために必要な発注者支援業務を委託するもの。

経緯・趣旨

○近年の猛暑への対策として、普通教室の空調設備の整備を令和2年夏までに完了



- 今年度から、授業時数確保のため、夏休みを短縮
- 授業に集中できる学習環境の整備
- 教職員の職場環境の改善



特別教室への空調設備整備が早期に必要

事業内容

【事業手法】

設計・施工一括発注方式(デザインビルド方式)

工期短縮による早期整備や整備費軽減が可能



- 事業者の受注能力・入札参加意欲の調査
- 公募書類の作成
- 概算事業費の算出等の発注者支援業務委託が必要



補正予算

【R5年度当初予算による場合】⇒ R7年秋 の整備完了となる

スケジュール	R4年度				R5年度								R6年度								R7年度																
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
スケジュール									事業者選定準備				事業者選定				設計・施工																				



【11月補正予算とした場合】⇒ R7年夏前 の整備完了を目指す

スケジュール	R4年度				R5年度								R6年度								R7年度															
	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
スケジュール																																				
スケジュール						事業者選定準備				事業者選定				設計・施工																						

令和4年度11月補正予算（第4号）（案）補足資料

〔事務事業名〕 S N S を活用した児童相談支援事業

1 事業の趣旨

令和5年2月1日より児童相談所におけるLINEを活用した全国一元的な相談支援システム（以下、「相談システム」という。）の運用が開始される。

相談システムを活用することで、今まで相談に踏み切ることのできなかった子どもや保護者が家庭の悩み等の相談について気軽にLINEを通じて行うことが可能となる。

児童虐待の未然防止等に繋がることが期待されることから、相談システムに対応できる体制を整えるものである。

2 事業内容

国が構築した相談システムを活用し、子育てに悩む家庭からの相談に適切に対応するため、相談対応業務を委託するもの。

（1）業務内容

- ・子育て相談業務等
- ・虐待通告等の緊急性がある相談を受けた際の、こども総合相談所への緊急連絡
- ・月報・年報等の集計業務

（2）相談受付時間

- ・毎日 9：00～21：00

3 事業費

（1）歳出額

37,000千円

R4：6,300千円

※債務負担行為 R5：30,700千円

（2）財源内訳

- ・国庫支出金（補助率1／2） 18,500千円
- ・一般財源 18,500千円

担当課名	こども総合相談所
担当者名	所長 江田 始男
電 話	内線 5593 直通 086-803-2525

SNSを活用した児童相談支援事業

1 目的

- 児童虐待の未然防止や早期発見の観点から、子どもや保護者自身がより相談しやすい環境整備のため国がLINEを使った相談システムを構築。
- 令和5年2月に運用が開始されるため、岡山市でも国のシステムを活用したLINE相談を始めるための委託料を補正予算に計上する。

2 事業内容

○ 子どもや保護者自身からの相談を想定し、虐待予防や早期発見の観点から、一般的な子育ての相談から虐待相談まで幅広く対応する。

○ 国の想定よりも受付日、受付時間を拡大する。

国の想定

平日 10時から20時

岡山市

毎日(土日祝含) 9時から21時

○事業開始 令和5年2月

○ イメージ図

